



小牧市キャラクター
こまっきー

えーがや (いいね) ！ こまき

桜と歴史文化の風薫る春の史跡

小牧山でお待ちしています

小牧市では、例年3月末から4月上旬にかけて桜が咲きます。小牧のシンボルである小牧山は、県内有数の桜の名所で、毎年たくさんの方が訪れるお花見スポットです。今回は、小牧山で行われる春のイベントと小牧山で進む発掘調査についてご紹介します。

■小牧市制60周年記念事業

「小牧山さわらまつり」

ソメイヨシノやしだれ桜・山桜など、約1,200本の



桜で小牧山が薄ピンクに染まる4月上旬に開催されます。4月4日(土)、5日(日)には、児童写生大会、俳句コンテスト、写真コンクール、野点などのイベントが盛りだくさん。開花状況に合わせて夜桜のライトアップも行っており、昼夜を問わず開催期間中は多くの人でにぎわいます。

【日程】

4月1日(水)～10日(金)

※開花状況により変更あり。

【場所】史跡小牧山

■小牧山城発掘調査

永祿6年(1563年)に

織田信長が小牧山に築城した小牧山城では、現在発掘調査が進んでいます。平成26年度の山頂部分の調査では、これまで確認されていた2段の石垣に加えて、新たに3段目の石垣が発見されるなど、今注目の歴史スポットです。頂上にある歴史館(小牧城)には、貴重な発掘調査の出土遺



©小牧市

物が展示され、発掘調査後の現場には発掘の成果などが書かれた立て看板があり、その歴史的価値や重要性を伝えています。



発掘された3段目の石垣

お花見と合わせて、歴史と文化の風を感じてみませんか。4月上旬の桜の頃にぜひ愛知県小牧市にお越しください。

【問い合わせ先】

小牧市役所(代表)

☎0568-72-2101



ちょっと

知ってね！総合病院

私たちの知識が、お役にたてれば嬉しいです

「気球が見える目の検査」



視能訓練士
藤谷 真記

眼科や眼鏡店などで、覗くと「気球」や「道路」の絵が見える機械で検査をしたことがあると思います。この検査には、どんな意味があるのでしょうか？

この機械は、「オートレフケラトメータ」と呼ばれ、角膜(黒目)の形や目の屈折度(遠視、近視、乱視など)の度合いを調べることができます。

この「気球」や「道路」を見た時に、ハッキリと見えるように無意識にピント調節を行ってしましますが、目の屈折度は、ほとんど調節をしていない状態の時に検査をしなければ、正確に知ることができないため、なるべくぼんやりと見るのが大切です。

特に子供は調節力が強いいため、本来よりも近視が強く測定される傾向があるので、調節を麻痺させるお薬を点眼して検査する必要があります。

また、まぶたやまつげも測定値に影響がでる場合がありますので、できるだけ目を大きく開け、ぼんやりと見るように心がけましょう。